様式 2

令和元年度　学術振興基金助成による成果報告書

令和元年　6月　7日

学　長　　殿

所属部局　共生システム理工学研究科前期 1 年

申　請　者　名　　　荊　　湛　元

助成事業の区分	いずれかにチェックしてください 研究協力に関する事業 （✓学会参加） 学術振興に関する事業 （☐学生　☐事務職員）
事　　業　　名	日本経営システム学会第 62 回（2019 年春季）全国研究発表大会＠新潟国際情報大学　新潟中央キャンパス
事業実施期間	令和元年 5 月 25 日～5 月 26 日
成　果　の　概　要	新潟国際情報大学の新潟中央キャンパス（新潟市）で開催された日本経営システム学会第 62 回（2019 年春季）全国研究発表大会で発表を行った。 発表題目は、「鳥取県への観光客の二次交通利用に着目した地域経済波及効果の検討」である。 日本の地方都市では、人口減少や過疎に伴い、地域の公共交通機関は、その維持・管理が経済的に厳しく、縮小傾向にある。一方、近年、観光セールスに力を入れた地方都市への観光客増加により、観光客が二次交通として地域の公共交通機関を利用する状況も散見される。研究目的は、観光客が二次交通として地域の公共交通機関を利用することで、公共交通機関の維持の可能性を検討することである。 研究成果である次のことを発表した。 ・観光客の期待増加人数の試算。 ・観光客の増加による二次交通事業者と地域の経済波及効果を産業連関表に基づき算定し、公共交通機関の維持可能性の検討に必要な資料の作成 ・二次交通の施策により観光消費の内訳の変化が、経済波及効果に与える影響の検証。 なお、調査研究に協力いただいている中海・宍道湖・大山圏域の一部が含まれている鳥取県を事例に検証したものである。 今回の発表と質疑応答、その他の講演で、本研究と異なる他の研究者の取り組みを多く見ることができた。それらのモデリングは、大学院の授業などでも知識として得ることができていたが、実際の応用例を今回の国際会議で他の研究者から聴くことができ、おおいに、今後の研究に役立った。当該助成に感謝申し上げる。